

北海道福祉サービス第三者評価結果公表事項

①第三者評価機関名

有限会社 NAVIRE

②運営者(指定管理者)に係る情報

名称：社会福祉法人 浜中福祉会

代表者氏名：理事長 西原 基治

所在地：〒088-1361 厚岸郡浜中町茶内緑9 1 番地

TEL 0153-65-3100

③事業所の基本調査内容

別紙「基本調査票」のとおり

④総評

◇特に評価の高い点

○職員の福祉サービス向上に向けた意欲的取り組み

昨年の第三者評価の結果を受け職員は意欲的にサービス向上に向けた取り組みをし、提言をしながら体制構築に取り組んでいる。たて割り4チームごとにP(計画)D(実施)C(評価)A(改善)のサイクルを作り上げ実施している。チーム編成を行ってから担当職員は2ヶ月毎に手紙を送付したりして、職員と利用者・家族との距離が近くなり職員はより密な個別ケアを実施する事が出来、利用者・その家族は安心して対応を任せられている。

○地域資源としての高い役割を担う福祉施設

行政の後を受けて運営に携わり、社会福祉施設の中心として役割を担っている事業所は、東日本大震災の時には堅牢な施設と、高齢者福祉の専門性を生かした一時避難所としての役割を担った。その結果、緊急時の避難施設として町と協定を結び災害防止体制の一員として信頼を得る施設となっている。また、地域住民からの要望で、家庭介護教室を開催し認知症への理解や、介護への取り組みを行い、地域に役立っている。

○職員の処遇改善に向けた管理職の理解と協力

管理者は、職員の福祉サービス向上に向けた取り組みや、研修を受け質の向上を目指す取り組みに対し、人事考課を取り入れ評価する体制を取るべく各地視察をし現在職員との協議に入っている。特に出来る事からと正職員を多く採用したり、昇給を先行させたりと、意欲の向上に役立っている。

◇改善を求められる点

●体系的かつ個別の教育計画と研修の取り組み

管理者、職員は福祉サービスの質の向上に向け、PDCAサイクルの体制を構築して改革に意欲的に取り組んでいるが、母体法人や当事業所の中長期計画が策定中の為、目指すべき方向が定まっていない。従って、将来における必要とされる職員の構成や、資質、資格を把握するには至らず、早急に、体系的かつ、職員一人ひとりの教育計画を策定し、研修に取り組む事を期待する。

●各種マニュアルの整備

昨年以降、各委員会を中心にマニュアルの整備を進めているが、認知症ケア、災害対策、看取りケア等のマニュアルはまだ未整備となっている。利用者、家族の安心安全を担保する為にも早急に整備する事を期待する。

●利用者に対し、理解しやすくする工夫

たて割り4チームによるそれぞれの特性を活かしたケア内容になっているが、利用者は、担当職員と言う認識が難しい為、付近の職員に声に掛けている。この為、担当職員ではなくてもその場ですぐに対応出来るように、たて割り班どうしでの利用者の情報共有、情報交換を行い統一性をもったケア内容を期待する。

⑤第三者評価結果に対する事業者のコメント

平成23年度の評価結果を踏まえ、「まずはできることから」と課題整理をしながら、役職員一同鋭意取り組んだところです。しかし、全面的な改善には至らず厳しく自己評価をしたところですが、今年度も第三者評価とは大きな乖離がありました。改善しつつあるも、専門的立場、見地から下された現状評価と真摯に受け止めて、今一度しっかりと検証を重ね、コメントを参考にさせていただきながら、高齢者福祉の拠点施設として、利用者をはじめ、家族、地域関係者等から、信頼され、期待される施設づくりを目標に、課題解決とサービスの充実に向けて総力を挙げて取り組んでまいります。

⑥評価対象項目に対する評価結果及びコメント

別紙「評価細目の第三者評価結果」のとおり